



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第337号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

教皇フランシスコ「福音の喜び」マヘル神父

今回は、使徒的勧告「福音の喜び」—教皇フランシスコ—より引用します。

福音の喜びは、イエスに出会う人々の心と生活全体を満たします。イエスの差し出す救いを受け入れる者は、罪と悲しみ、内面的な虚しさ、孤独から解放されるのです。喜びは、常にイエス・キリストと共に生み出され、新たにされます。この勧告において、私は、この喜びを特徴とする福音宣教の新しい旅の段階へのキリスト者を招き、今後数年の教会の歩みの道筋を示したいと思います。

●新しく、共有される喜び

1. 多様で圧倒的な消費の提供を伴う現在世界における重大な危機は、個人主義の虚しさです。この虚しさは、楽な方を好む貧欲な心を持ったり、薄っぺらな快樂を病的なほどに求めたり、自己に閉じこもったりすることから生じます。内的生活が自己の関心のみに閉ざされていると、もはや他者に関心を示したり、貧しい人々の事を考えたり、神の声に耳を傾けたり、神の愛がもたらす甘美な喜びを味わうこともなくなり、ついには、善を行う熱意も失ってしまうのです。信仰者にも、常にこの誘惑に陥る危険性が確かにあります。多くの人々がその危険に迫り、いらいらして、愚痴をこぼし、生き生きとしていられなくなります。それでは尊厳のある充実した人生を

選択することにはなりません。それは、神が望んでいる道ではありませんし、復活したキリストの心から湧き出る聖霊に結ばれた生活でもありません。

2. 私はすべてのキリスト者にどのような場や状況にあっても、今この瞬間、イエスキリストとの人格的な出会いを新たにしようと呼びかけたいと思います。少なくともイエスキリストとの出会いを妨げないよう、日々努力することを勧めます。誰もがそう招かれています。「主によってもたらされた大きな喜びは、誰をも除外しない」からです。主にかけるものを主は失望させません。小さな一歩であってもイエスに向かって歩みだすならば、イエスが手を広げてその到着を待っていることに気が付くでしょう。その時こそ、イエスキリストに向かって次のようにいう時です。「主よ、私は間違っていました。何度もあなたの愛から逃げました。しかし、もう一度あなたとの約束を更新するためにここ

霧島マリア山荘訪問記	2・3面
信徒総会まとめ	4面
聖書グループ紹介	5面
今月の聖人	5面
パウロの旅	6面
教会学校のページ	7面
お知らせ・幼稚園からのお知らせ	8面

にいます。主よ、あなたを必要としています。もう一度贖いの腕に私を受け入れ、救い出してください。」私達が道に迷った時、主に立ち返ることが出来れば、どんなに素晴らしいでしょう。繰り返して言いますが、常に神は、倦むことなく私達を許してくださいます。却って私達の方が、神の慈しみを求める方がうんざりしてしまうのです。イエスは私達に七の七十倍(マタイ 18・22)許すようにと教え、ご自分から模範を示して、七の七十倍も私達を許します。そして私達を何度もご自分の肩に負うのです。このような揺るがない無限の

愛が私達にもたらす尊厳を、誰も奪うことは出来ません。イエスのお蔭で、私達は頭を上げ新たな出発が出来るのです。イエスの優しさは私達を決して失望させることなく、いつも喜びを取り戻させてくれます。イエスの復活から離れないようにしましょう。決して負けを認めてはなりません。どんなことがあってもです。私達をいつも前進させるイエスの命より大切なものはないのです。

パパ様の言葉を良く黙想しましょう。そして「福音の喜び」を新たに考えましょう。

(8月号に続く)

霧島マリア山荘（坂本神父の本拠地）訪問記

3月に黙想会指導を頂いた坂本神父様の本拠地、マリア山荘へ5月中旬に行き、1泊、正味5時間くらいの小滞在をさせて頂きました。黙想会参加の方はご記憶があると思いますが、神父様は、「水巻の皆様がマリア山荘にいらっしゃることを望みます。高速バスに乗って、鹿児島空港のバス停で降りればいいのです。」と、あまり実現しそうでない話を面白そうに語られていました。(暇な?) 私は、その後、連絡を取り合って、訪問が本当に実現することとなりました。



《祈りの聖母像と坂本神父》



《周りには森に囲まれています》

マリア山荘は森に囲まれていました。マリア山荘は、小さな教会である溝辺教会と同居。1Fに小さな聖堂があり、2Fに黙想会に訪れた方が10名くらい宿泊できる個室があります。また、100mくらい離れたところに聖ヨゼフ修道会があります。坂本神父からアジア人の多い、20名くらいの男子修道会と聞きました。早朝、そこでミサにあずかりました。

坂本神父は、たった一人の聴講生、私のために講話をして頂きました。「すさみ」と「なぐさめ」について。「すさみ」にも「なぐさめ」がある。「すさみ」においても、自分の気持ちを預けられるべきである。任せる＝神に任せること＝そうすれば、苦しみが減る。この話から、スタートを切りました。

話は、16世紀の聖イグナチオの生き方に移りました。イグナチオは若い頃、軍人を志し、大将になったものの負傷。その絶望を乗り越え、36歳で神学校へ。後に15名で修道会を発足、これがイエズス会となったのです。そこでプロテスタント批判ではなく、霊操を中心に、修道の精神を捉えることでした。

なお、イエズス会を立ち上げたイグナチオは、4世紀に立ち上がったベネディクト会の精神から多くを受け継ぎました。特に、ベネディクトが黙想して籠もったところが、ベネディクト会のモンセラット修道院であったことにも依ります。

イグナチオの語る1つのエッセンスを、坂本神父流に言えば、次の様です。「神を信じることで、信仰はジャンプする。自分を駄目だと思っても、神に自分を預けると神が変えてくれる。すさみにとどまってはいけない。」

また、清貧が基本としつつ、清貧とは一見矛盾する内容、「使えるものは何でも使う」のがイグナチオの方針でした。使うのは、神の栄光のため。イエズス会は World enterprise を



行うところ。自分のためにではなく、世界のために使う。あらゆるものを、神のみ心を果たすために使ってゆく。

その他に、イグナチオの著書「霊操」を基にした話も聞き、観想の話に至るまで聞いたのですが、紙面の都合でここまでにします。何はともあれ、皆さんをマリア山荘に誘いたいと思います。

(三谷)

《山荘の裏側。聖母像があり、その後ろの森を、十字架の道行きとしている》

信徒総会 (2015年6月14日)

信徒会長の浜口さんより、総会のまとめを下記のように頂きました。

信徒総会（2015年度6月）のまとめ

信徒総会の原案通り、承認を得た。

維持費の納入に感謝を伝え、今後もよろしくお願いいたします。

別途、準備した「信徒総会ポイント」について、次の様に決定した。

(1) 駐車場献金について

- ・廃止する
- ・駐車場献金の返却を求める人には、返金する。
- ・返金請求は、2015年12月とする。

(2) 営繕献金について

- ・新設する
- ・運営方法は小教区委員会に一任となる

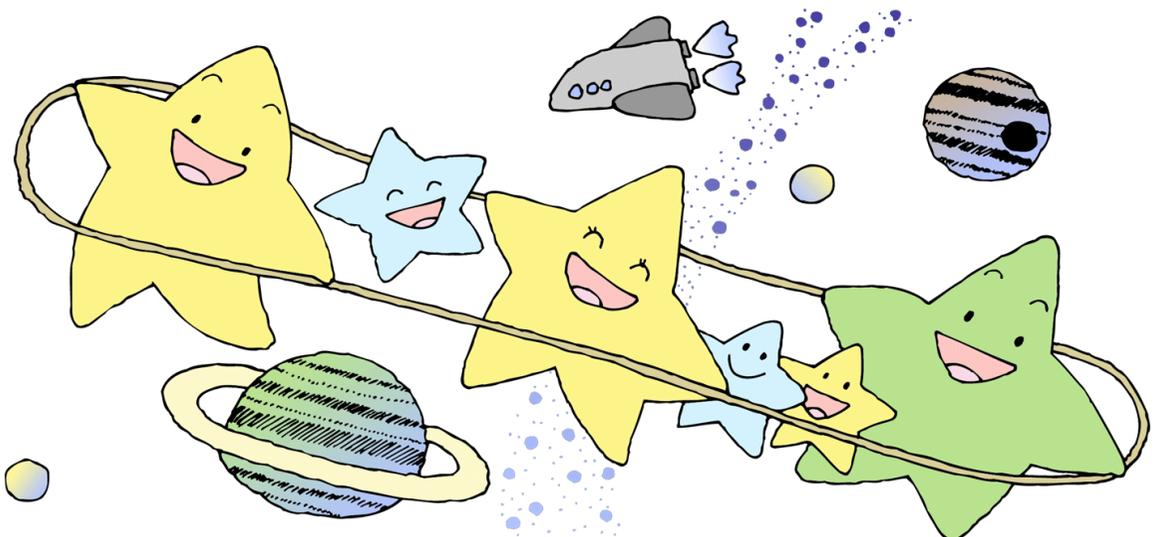


信徒総会の議事は、後日連絡します。

広報委員会から補足：

広報委員会の記録メモにおいては、上記(1)の最後((2)の直前)において次の様にあります。

「・小教区委員会で一任させて頂く」・・挙手で決定。



聖書グループ紹介 「聖書 100 週間」

2013年9月から旧約聖書・新約聖書を通して読む聖書100週間の勉強会がスタートしました。初めは16名くらいの参加がありましたが、就職や転居、その他の事情で今は12名の参加です。黒崎教会からも2名参加しています。パリ外国宣教会のマルセル・ルドールズ神父様が作成された手引き書(全3冊)を参考にしています。各自個人的に毎回決められた個所の宿題を読んで、自分なりの感想や気づいたこと、質問などを書きとめます。水曜日午前10時からの集まりでは、神父様の時代背景やイスラエルの考え方などの説明があって、分かち合いをします。

これまでに、創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記、ヨシヤ書、士師記、ルツ記、サムエル記、列王記、アモス書、ホセア書、イザヤ書、ミカ書、ゼファニア書、ナホム書、ハバクク書、エレミヤ書、哀歌、バルク書、オバデア書、エゼキエル書、エズラ記、ネヘミヤ記、ハガイ書、ゼカリア書、マラキ書、ヨエル書、歴代誌、箴言、ヨブ記、雅歌、コヘレトの言葉、ヨナ書、トビト記、ユディット記、エステル記、マカバイ記、ダニエル書、シラ書と読み進んで、あと知恵の書と詩編を残して旧約聖書が終わります。その後新約聖書に移ります。

宿題をこなすのが精一杯であり印象に残っていない部分もあります。ミサで記憶に残る旧約の個所が出てくるとうれしくなります。イスラエルの民は、たびたび神に逆らってきましたが、一方で、神からのきずな、神のあわれみは執拗なほどの強さです。また一部の民の信仰、神認識の確かさは考えさせられます。祈りの美しさと神と人との信頼関係は、イスラエルの民を通じて今のわたしたちに受け継がれるべきものと思います。旧約聖書を投影させて読む新約聖書はまた新鮮で意義深くなると思います。

参加メンバーは互いに励まし合い、感想を分かち合うのを楽しみに参加しています。8月は夏休みになります。秋からでも参加されませんか。 矢田 公美



今月の聖人

3日 聖トマ使徒 1世紀

イエスの弟子であるトマは、「ディディモ」(双子の意)とも呼ばれている。トマは、イエスが復活して現われたと聞いたとき、イエスの傷痕に自分で指を入れてみるまでは決して信じないと言った。そのため、「疑い深いトマ」として知られている。しかし、イエスが再び使徒たちに現われて彼もそこに居合わせたとき、「わたしの主よ、わたしの神よ」と自らの疑い深さに気づき、イエスからも「見ないで信じる者は幸いである」と諭された。その後、トマはインドに宣教に行き、マイラポールで殉教したと伝えられている。インドの信者たちは自分たちを「聖トマのキリスト信者」と呼ぶことが多いそうである。

パウロの歩いた道 No.11

パウロはテサロニケから追われるように旅立ち、南のベレヤに行きました。このベレヤでも信仰が深く聖書を毎日読んでいた多くの人たちが信じるようになりました。

しかし、テサロニケのユダヤ人は、パウロがベレヤでも宣教していることを知ってベレヤまで押し付けてきました。そこで兄弟たちはパウロを海岸まで行かせ、アテネに送りだしました。(使徒 17章 10節～15節)

聖書には「海辺まで行かせ」と書いてありますが、パウロはどのようにしてアテネに行ったのでしょうか。船でとは書いてありません。しかし文面から推理すると船だろうと思われまます。アテネの町はずれのリゾート地の海岸には、柵で囲まれた史跡の教会跡があります。

ここはベレヤからパウロが来て上陸した地点とされ、そこへパウロ上陸記念の教会が建っていたのです。この国には各地にこのような聖書に関係する遺跡があります。

アテネでのパウロでは、アレオパゴスでの論争があります。(17章 16節～34節)

アレオパゴスのことは依然書いたことがあります。アテネのポスターというと、誰でも丘の上にあるパルテノン神殿の写真が有名です。私もいつかはアテネに行って、この神殿の風景を見たいと思っていました。この写真は神殿の南側で、断崖の上にある神殿を写しています。そのため人工的にものが全く周りにない神殿の風景になっています。

ところが神殿の北側には丘の中腹に向かって登り坂の町があります。こちら側は丘の中腹まで車が行くようになっていて、神殿観光に行く道も駐車場も北側にありますので、観光バスは全てこちらから行きます。だから南側から写した神殿の観光写真には、全く現代の痕跡(車など)が写っていないのです。私が停まったホテルも北側の町で、ホテルの窓から神殿がすぐ上に見えたのを覚えています。パウロがアテネに行った時もこの神殿はありました。そして町の中もギリシャ神話の偶像だらけだったでしょう。

アレオパゴスがどのような状態であったかは聖書に書いてありませんが、今は大きく平らな岩が神殿の100mくらい下に残っています。神殿観光のために駐車場から坂を登ると小さな広場に出ます。そこの突き当たりがアレオパゴスです。神殿観光に行くにはそこから右に登ります。登りに入る所に観光料金のゲートがあるのですぐに分かります。

アレオパゴスの岩の上から南にはアテネの市街地と海が一望に見えます。岩の上には何もありませんが、当時は大きな神殿のようなものが立っていたのだらうと思いました。

パウロはこの上でアテネの学者たちに偶像崇拜について厳しく批判をしましたが、議論はうまくいきませんでした。京都や奈良で、清水寺や東大寺を指差して「あれは間違っている」と言っても、その土地の人は簡単に納得しないでしょう。パウロは話をする場所を間違ったと私は思いました。

そこでパウロは南のコリントの街を目指して旅を続けました。アテネからコリントまでは一日程度の距離です。



教会学校のページ



《高学年クラス》

5月24日

出席者：野田明日美さん

この日の高学年クラスは、初聖体クラスと一緒に勉強しました。

6月14日

出席者：野田明日美さん

今日の福音 マルコ4章26—34を再読しました。

イエス様の言われる神の国の種とは、何を意味しているかを考えました。また、聖書に出てくる「奇跡」について考えました。奇跡は魔法と違い、イエス様が救い主であることを証しするために起こる出来事やしるしです。

そこには神様の望みや働きが現されています。



《初聖体クラス》

5月24日

出席者：山田蓮さん

高学年と合同でビデオ「天地創造・アダムとエバ」を見ました。

こじか・神様こんにちは「初聖体のじゅんぴのために」を読み、十字架のしるしの意味を考えながら練習しました。

6月14日

出席者：永山 楓海さん

主の祈り、アヴェ・マリアの祈り、栄唱、回心の祈り、使徒信条の祈りをしました。

初聖体のテキスト「かみさま」「かみさまとわたしたち」の勉強をしました。

七つの秘跡(洗礼・堅信・聖体・ゆるし・病者の塗油・結婚・叙階)について聞きました。

最後に「ありがとう」の歌を歌いました。



7月



おしらせ

★ファミリーキャンプ★

日 時：7月20日(月) 海の日

場 所：中間の垣生公園

昨年まで、教会学校の行事の一つで、子どもの錬成会を行っていましたが、今年はそれを「ファミリーキャンプ」と名付け、子どもだけではなく、大人も参加してバーベキューを楽しむ会にしました。

時間等、詳しい内容は日曜日の「お知らせ」で知らせますので、ご覧ください。

★聖書研究会★

今、行っている各種聖書研究会は7月後半から、夏休みになるものが多いです。日曜日のお知らせで確認してください。

★号外を入れてます★

今月のからしだねに号外を入れてあります。聖堂の後ろに、数週間前から置いてあった「ありがとう」(教会の維持費と献金について)の手紙です。



水巻聖母幼稚園からのお知らせ

2016年度は2歳児クラスも開催予定です。エンゼルクラスとあわせて、子ども達一人ひとりの発達に沿った援助をしていきたいと準備をしております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

☆2016年度 2歳児クラスについてのお話☆

日 時：7月3日(金) 10時～11時

場 所：水巻聖母幼稚園 2階ホール

☆オスチマンとあそぼう! ☆

日 時：7月8日(水) 10時30分～11時30分

場 所：水巻聖母幼稚園 2階ホール

参加費：一家庭500円です

☆みんななかよく☆(0歳児～入園前までのお子様を対象です)

◎6月29日(月) 10時～12時 幼稚園2階 きく組・ホール

親子でふれあって遊びます。楽しい絵本もご紹介します。

☆幼稚園 夏まつり☆

◎7月18日(土) 17時～19時30分

水巻聖母幼稚園 園庭

夕方の幼稚園に遊びに来てください。お待ちしております!

お知り合いの方がおられましたら、お誘い合わせの上、ご来園ください。

